

宮津天橋高等学校

天橋芸術祭

2024

第48回全国高等学校総合文化祭 ギフ総文2024 書道部 出品作品



赤西 真唯 (HR31・加悦中) 『煌めき』



羽瀨 真穂 (HR32 橋立中) 『肉まんの季節がやってきた!』

始平公像一區夫靈蹤弗成則攀宗靡尋容像不陳則崇
之必是以真類於上齡遺形敷于下葉暨于大代茲功廉
倫比丘慧感自以影濯玄流邀逢昌運率渴誠心為國造
石窟寺讎系松皇恩有資來業父使持節光大夫洛州刺
史始平公奄為覺放迎慈類以摧駟匪為在

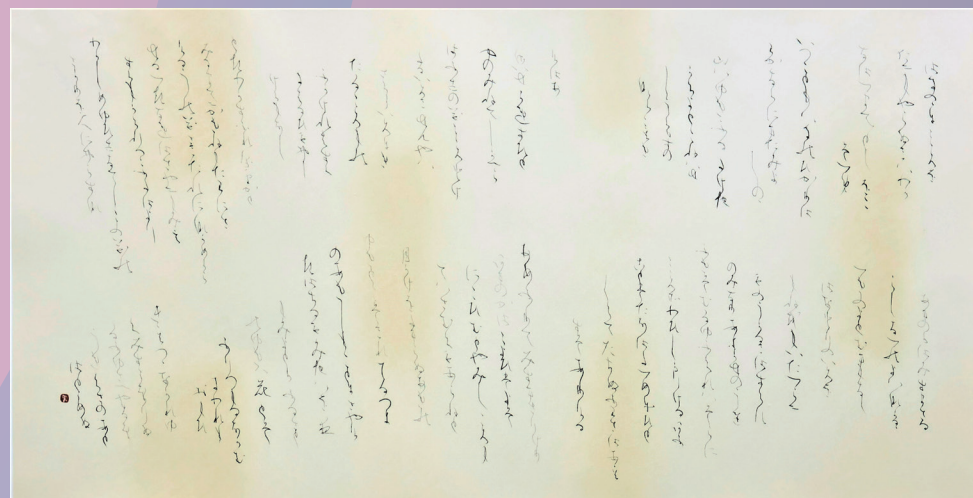
奈央 臨

土肥 奈央 (HR31・江陽中)
『臨 始平公造像記』

漢皇重色思傾國
御宇多丰年
求不得
楊家女
初長成
養在深閨
人
起新承恩澤
一時雲鬢
清步溫
搖水滑
凝脂侍
一兒笑
扶百媚
生六宮
佳麗
三
千
寵
愛
在
一
身
金
屋
粧
成
嬌
侍
夜
五
樓
宴
罷
醉
和
春
宮
麗
史
始
平
公
奄
為
覺
放
迎
慈
類
以
摧
駟
匪
為
在

谷口 心彩 (HR32・江陽中)
『創作 長恨歌』

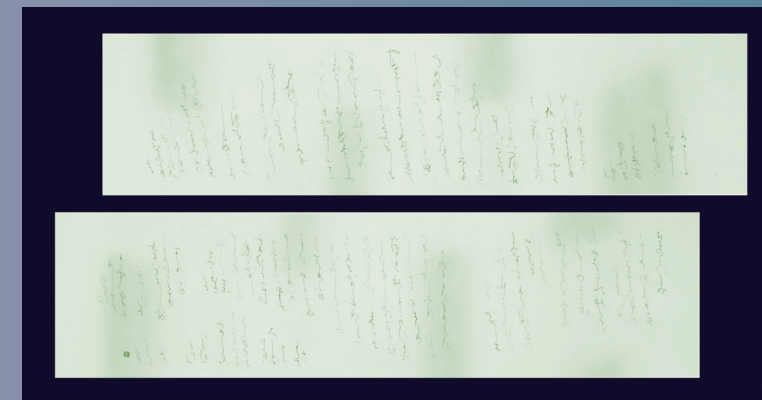
第44回近畿高等学校総合文化祭
福井大会 出品作品



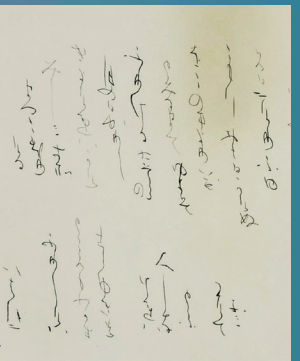
上岡 舞 (HR22・大宮中) 『後撰和歌集より』

辭戸朝儒君
白宮觀藥乃
懿援之規閔
明泰階程縉
后尚費寅紳
德功不著六
義宮出各徒
車史民獲不
貢王設人濟
玉頌平爵開
庭等千之幸
近嘉時報寺
鬼幕門廓門
方異下廣承
威斯掾聽望
布寺王事卑
烈甫敞官登
安之錄合鄉
殊美事廷明
庇乃掾書而
還井王廊治
師刊卑閭庶
旅石主升使
紀薄降學
功王揖者
其庶讓李

谷口 心彩 (HR32・江陽中)
『臨 曹全碑』



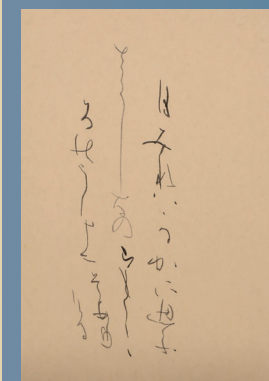
上岡 舞 (HR22・大宮中)
『古今和歌集より』



『古今和歌集より』
部分



安田 美結 (HR32・峰山中)
『千載和歌集より』



『千載和歌集より』
部分

令和7年 2月

7(金) 9:00 - 17:00

8(土) 9:00 - 17:00

9(日) 9:00 - 15:00



宮津市民体育館

〒626-0012 京都府宮津市浜町 3000

宮津天橋高等学校 ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/miyazutenkyou-hs/mt/>



御挨拶 ～天橋芸術祭 2024 によせて～

宮津天橋高等学校 校長 深田 聡

京都府立宮津天橋高校は開校5年目を迎え、文化系及び体育系の部活動では学舎制導入以前にも増して活気があり、大きな成果を挙げております。その文化系部活動や授業等の教育活動を多くの方々にご提供いただく機会のひとつとして、昨年度に引き続き今年度も「天橋芸術祭」を実施し、令和6年度1年間の芸術活動等の成果を発表・展示することとしました。両学舎生徒がいっしょに行う取組を是非御覧ください。

「天橋芸術祭」は美術、書道はもちろんのこと、写真、吹奏楽、合唱、琴、茶道、建築科、さらには授業で美術、書道、音楽を選択している生徒も発表・展示いたします。卒業生、地域社会の皆様方から宮津天橋生に良きアドバイスをいただくことで、さらに生徒の技術的なレベルは上がるものと考えます。生徒への教育的なお声かけをいただけましたら幸甚です。

なお、天橋芸術祭を牽引する美術部・書道部・写真部の生徒たちは、様々な大会へ出品するなど活躍しています。今年度の全国高等学校総合文化祭（全総文）岐阜大会に、書道部3名が京都府代表として出品（内1名は全国特別賞）し、全国各地から集まった作品に触れ、見聞を広げるとともに、感性に磨きをかける貴重な機会を得ました。また、近総文福井大会には美術部1名、書道部3名、写真部1名が出品、さらに、京総文においては、美術部で最優秀賞、書道部でも最優秀賞と優秀賞を受賞しました。美術・書道2部門での最優秀賞受賞は本人の自信を深めるとともに、他の生徒を勇気づける受賞となりました。

さらに、次年度の近総文鳥取大会に美術部2名、全総文香川大会に書道部2名、写真部1名が京都府代表として出品が決定しております。

これもひとえに保護者や地域社会の皆様方の御支援のおかげであると感謝しております。芸術作品は、多くの方々に実際の作品を鑑賞いただいて初めて完成するものです。この天橋芸術祭が、生徒たちの作品や活動に込めた思いや情熱をお伝えする一助となれば幸いです。

本日は寒さの厳しい中、御多忙中にもかかわらず御来場いただき、誠にありがとうございます。どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。

宮津天橋高等学校PTA会長 川邊 真

皆さま、本日は「天橋芸術祭」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

昨年度より両学舎合同での「天橋芸術祭」を開催しております。

各音楽系文化部においては、近年地域のイベントにご招待頂くなど、発表の場を広げ活躍していることは皆さまご存じかと思えます。今日はそんな文化部の発表とともに、芸術科選択の生徒たちの作品の数々、書道部・美術部・写真部の心をこめ、思いのつまった「あっ」と息を呑むほどの超大作、素晴らしい作品展示をどうぞごゆっくりお楽しみください。

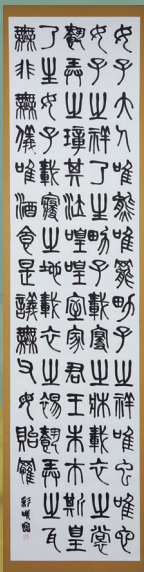
最後に、今後とも本校の文化芸術活動へのご理解、ご支援を賜りますとともに、本芸術祭を開催するにあたり、ご支援、ご協力をいただきました皆さまに心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第41回京都府高等学校 総合文化祭 最優秀作品



美術・工芸部門
赤西 真唯 (HR31・加悦中)
『行く春』

書道部門
森下 彩咲 (HR33・江陽中)
『臨 楊沂孫』



芸術科 授業解説

音楽解説

両学舎の1年生は、音楽理論の学習により読譜力を向上させ、ボディパーカッションやギターの演奏で実技と理論を結び付けて学習しました。創作では音楽制作アプリを用いて音楽的な見方や感じ方を意識したトラックの編集に取り組みました。加悦谷学舎では、2年生で中世から近代までの西洋芸術音楽を系統立てて鑑賞することで、時代背景に伴う芸術音楽の変遷と作曲家の特徴や作風、功績について学び、身近にある音楽との関わりについても理解を深めました。ピアノの演奏、さらに3年生で取り組むギターの弾き語り演奏をとおして音楽理論と実技を結び付けた学びをさらに深めました。3年生は集大成として各自が演奏方法を含めて選曲した楽曲で発表会を実施しました。宮津学舎の3年生は音楽探究として各自がテーマを設定し、プレゼンテーションと演奏を含む成果発表を実施しました。演奏技能、楽曲、またアーティストのメッセージなど、様々な角度からアプローチすると共に、音楽的な見方や感じ方を深めより良い音楽体験を追求しました。

美術解説

両学舎の1年生の授業では、はじめに基礎課題を設け、物を立体的に捉えたり色彩の仕組みを理解したりと、美術の基本的な能力を養いました。その力を活かし、身の回りにある自分のときめく場面や風景を見つけ、自分なりのテーマを設定し、絵の具表現を工夫しながら油絵にしました。

加悦谷学舎では、2年生の授業で住んでいる地域の特徴を捉え、その良さを「地域ブランド」として表現するためのカードをデザインしました。2学期には心惹かれるお気に入りの作品を鑑賞し、その作者の思いやテーマ、要素を自作に取り入れたオマージュ作品の油絵を制作しました。
※オマージュ…影響を受けた芸術家・作曲家・作家などに捧げる敬意や尊敬、称賛。また、その敬意

3年生の宮津学舎では、校内に置く美術作品として空間も含めてひとつのテーマとなるよう立体作品を作り上げました。加悦谷学舎では、今の自分を表すハイライトデッサンとして、黒画用紙に白い鉛筆で自分の体の一部を表しました。両学舎、2学期からは最後の卒業制作として、題材からコンセプト、計画に至るまですべて自分たちで決めた作品制作を行いました。それぞれに個性と工夫が表れる作品となりました。

書道解説

両学舎の1年生では、高校に入学し、「書写、習字」から芸術科「書道」に変わり、古典の臨書や篆刻をとおして書道の基礎を学び、感じ、考えてきました。様々な古典にふれながら時代背景、筆法、古典の特徴を知り、今回はそれぞれが書きたいと思う古典作品を半切2分の1サイズに臨書しました。半紙よりも大きなサイズに書くのも、裏打ちや軸装も1年生にとっては初めての経験で、緊張しながらも作品を完成させることができました。加悦谷学舎2年生では昨年から学習や経験を生かし、半切作品制作に取り組みました。古典の特徴を捉え、古典の内容を理解し、書者の想いも考えながら制作した表情のある作品となりました。3年生では、3年間の集大成として半切に好きな古典を臨書しました。様々な古典を臨書して、それぞれの特徴や、用筆・運筆、リズムなどを意識し制作に取り組みました。多彩な表現方法を身に付け、見ごたえのある作品になりました。

内容

展示

書道授業・美術授業作品（両学舎）

建築科授業作品（宮津学舎）

書道部・美術部作品（両学舎）

写真部作品（宮津学舎）

小学生建築デザイン展 応募作品

発表

吹奏楽部（両学舎）

合唱部・茶道部（加悦谷学舎）

琴部（宮津学舎）

Program

8日(土)

午前の部

9:45 琴部

10:05 吹奏楽部

11:00 小学生建築デザイン展 表彰式

午後の部

13:00 合唱部

13:30 吹奏楽部

9日(日)

9:30～茶道部による呈茶

※当日受付にて整理券を配布します。

最終呈茶は14:30を予定しています。